

安心バンク、JAバンク。

JA HOKUSAI DISCLOSURE

2021.9 上半期ディスクロージャー誌

令和3年4月1日～令和3年9月30日



 ほくさい農業協同組合

1. 組合員と地域の皆さまとともに!!

JAほくさいは地域社会の一員として、地域の皆さまとともに歩んでいきます。

JAほくさいは、行田市、鴻巣市の一部（屈巢、広田、北根、赤城、赤城台、関新田、新井、境、上会下）、羽生市、加須市を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAほくさいでは、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

JAほくさいは、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。

また、JAほくさいは、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やJAの社会・文化的活動をととして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っています。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良い地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んでいきたいと思っています。

トピックス

シトラスリボン募金を寄附



JA は、「医療従事者に感謝の気持ちを」として皆さまにご協力いただいた 95,960 円を埼玉県に寄付しました。10 月6日に加須農林振興センターで贈呈式を行い、大塚宏組合長が横田二也所長に目録を手渡しました。

この「シトラスリボン募金」は今年8月に女性部から寄贈されたシトラスリボン 1,000 個を有効に活用しようと企画されたもの。9月1日から同 24 日まで支店窓口で募金箱を設置し、リボンを来店客や役員に配布しながら寄附をよびかけました。集めた寄付金は新型コロナウイルス感染症対策事業のうち、医療従事者や医療機関の活動支援などのために活用される予定です。

JA青年部は8月2日にJAの常勤役員との意見交換会を本店で開催しました。

この交換会は「部員の意見をJA運営に生かしてほしい」と岡博和部長らが提案したもので、同部から参加したのは岡部長や栗原淳也副部長ら役員6名。JAからは大塚宏組合長のほか平井清敏副組合長、吉田岳雄常務が出席しました。

肥料の価格や大豆の概算金単価、水田活用米穀への対応などが議題に上がる中、栗原副部長は「部を発足させた目的は」と質問しました。大塚組合長は「農業者を一人にしないため。何かに悩んだ時、部員同士の情報交換はもちろん、JAも総合事業の強みを生かしてサポートさせていただくことで、解決の糸口をみつけていっていただきたい。」と回答しました。

青年部員と常勤役員が意見交換



農産物直売所生産者向け土壌診断サービス開始



JAはTACによる農産物直売所の生産者向けの土壌診断サービスを始めました。

初回は9月22日に騎西農産物直売所でスタート。騎西中央支店のTAC、山崎翔太職員が生産者の持ち込んだ土を簡易土壌診断キットでPH、硝酸態窒素などの4成分を測定しました。

ほうれん草の栽培を行う予定というほ場の土を持参した長島恵子さんは、測定後にそばで待機する肥料メーカーの社員から「PH値がやや低めなので、消石灰を入れてみては。」とアドバイスを受けました。

今年度はこの後行田、羽生農産物直売所で行う予定です。結果をもとにそれぞれの栽培品目に合わせた施肥設計を指導することで、生産者の手取り向上を支援してまいります。

2. JA自己改革の取り組み状況について

JAほくさいの目指す姿

- 安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支えます。
- 総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献します。
- 「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として存立します。

自己改革工程表（令和3年度のアクションプラン）

基本目標	令和3年度末に目指すもの	重点施策	令和3年度末に期待される結果	アクションプラン (主な取り組み状況)
				令和3年度
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦	持続可能な地域農業の実現	担い手経営体の経営課題に対応した総合事業提案の充実	担い手経営体の事業競争力が強化され、JAの事業利用の拡大を図り、より密接な関係の構築	・担い手経営体全戸訪問に向け訪問活動を実施中 ・農業融資担当者と連携し、農業融資拡大に向け活動中 ・TAC等により県域応援企画の提案により、JAの事業利用促進（農機具）12件 12,090千円
		直販米及び契約栽培の強化 多収性品種による飼料用米の取り組み	直接販売や多様な契約拡大等、安定的な取引先確保を通じ生産販売モデルの確立	・JA直販米比率40%目標に集荷中 ・契約栽培面積（ほしじるし）61.9ha（前年対比207.1%）
		JA出資型法人による農作業等の受委託	新たな担い手の育成、農作業受委託や新規作物導入支援	・令和4年度設立に向け準備アンケートの結果に基づき、モデル地区（須影・手子林）の農業生産圃場の洗い出し
	省力化資材の技術確立と肥料・農薬の積み上げ	技術確立を行うための試験圃場の設置及び普及活動	生産トータルコスト低減の確立・肥料・農薬の積み上げ樹立	・流し込み農薬の試験を12ヶ所で行いました。 9月末実績 - 肥料取扱高：170,023千円（前年対比4,184千円減 97.6%） - 農薬取扱高：162,939千円（前年対比1,013千円増 100.6%）
地域活性化への貢献	地域コミュニティの活性化や地域の多様な組織との連携強化による役割発揮	高齢者福祉事業の展開	地域コミュニティの活性化	・新型コロナウイルス感染防止のため中止
		地域農業者の出会いの場の提供	組合員の次世代とJAをつなぐ絆の強化	・新型コロナウイルス感染防止のため中止
		終活セミナーの開催	組合員の次世代とJAをつなぐ絆の強化	・各基幹支店毎に1回開催に向けて調整中です。
組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立	正・准組合員のメンバーシップ強化	青年組織を設置	メンバーシップの強化と活性化	・7月13日役員会開催 ・8月2日JAほくさい常勤役員との意見交換会 ・管内高校生によるロゴマークコンテスト開催 ・農機メンテナンス講習会（令和4年1月開催予定） ・Z-G I S研修会（令和4年2月開催予定）
		農産物直売所を核とした准組合員との交流	准組合員の「農」に基づくメンバーシップの強化	・羽生農産物直売所・騎西直売所については、対策を講じたうえで、さつまいも堀を11月中旬に開催予定 ・JA共済プレゼンツ 埼玉県内JA農産物直売所と農産物収穫体験ドライブラリー（令和4年2月開催予定）
「食」「農」「協同組合」にかかる国民理解の醸成	多様な媒体等による情報発信を通じて「農業振興の応援団」づくり	広報機能を強化し、JA情報の発信	JAの事業活動を通じた「農業振興の応援団」拡大	・Facebookにおいてイベント情報やその時々起こった出来事などを発信してまいりました。今後においても、写真だけでなく動画も交え、魅力のある記事で利用者の更なる拡大を図ってまいります。
		准組合員の「農」に基づくメンバーシップの強化	「食」「農」の理解醸成	・伝承料理教室・稲作体験教室については、新型コロナウイルス感染防止のため中止
		地域で子供のスポーツイベント支援	「食」「農」の理解醸成	・北埼玉野球大会については、7月24日（土）・25日（日）に開催

3. 安心のバロメーター

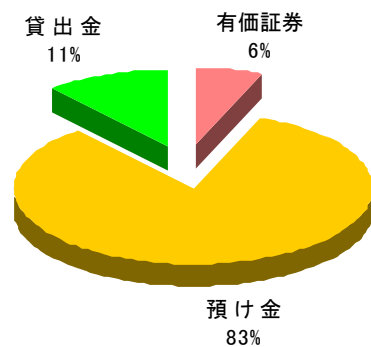
安心 (その1)

JAほくさいは、組合員の皆さまや地域の皆さまより信頼をいただき、お預かりしている貯金は2,984億円になりました。この大切な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しています。

R3年9月期のJAほくさいの運用資産構成

(単位：百万円)

	R2年9月期	R3年3月期	R3年9月期
貯金	291,752	291,611	298,428
貸出金	28,935	29,944	34,468
預け金	249,266	246,954	248,822
有価証券	14,450	15,207	16,541



1 売買目的有価証券

当JAは、令和3年3月期及び令和3年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	R3年3月期			R3年9月期		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	7,599	7,721	121	9,110	9,205	95
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	2,307	2,275	△32	2,203	2,186	△16
合計	9,907	9,997	89	11,313	11,392	78

注1：時価は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

3 その他有価証券

(単位：百万円)

	R3年3月期			R3年9月期		
	取得原価または償却原価	貸借対照表計上額	差額	取得原価または償却原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	2,701	2,737	35	2,001	2,037	35
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えないもの	2,607	2,562	△45	3,210	3,190	△20
合計	5,309	5,300	△9	5,212	5,228	15

注1：貸借対照表計上額は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

4 金銭の信託

当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

安心 (その2)

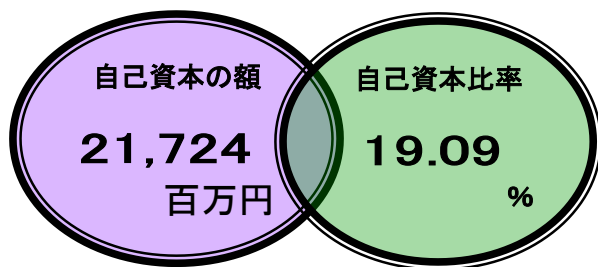
金融機関の経営健全性を示すバロメーター

…自己資本比率も充分です。

J A ほうさいは、国内基準（４％）の４倍以上で、国際基準（８％）を上回る 19.09%の自己資本比率と、48 億円の内部留保（特別積立金）で、安定した経営を維持しています。

（単位：百万円、％）

R3年9月期の自己資本の状況



	R3年3月期	R3年9月期
自己資本の額	21,553	21,724
自己資本比率	18.96%	19.09%
余 裕 額	12,462	12,620

R3年9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（H18.3.28金融庁・農林水産省告示第2号）に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額はR3年3月期の計数を用いて算出しています。

余裕額は自己資本額の内、国際基準（８％）を上回る部分の金額となります。

安心 (その3)

不良債権に対する備えも充分です。

J A ほうさいは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

（単位：百万円、％）

債 権 区 分 と 保 全 状 況		R3年3月期	R3年9月期
破産更正債権及びこれらに準ずる債権		35	32
危 険 債 権		133	112
要 管 理 債 権		—	—
小 計 (A)		169	144
保 全 状 況	上記債権の担保・保証の額(B)	91	75
	上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	51	42
	上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	84.2%	81.6%
正 常 債 権		30,118	34,910
合 計		30,288	35,087

注）R3年9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当J Aの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。なお、貸借対照表に計上している貸出金とは対象となる範囲が異なるため、残高が一致しない場合があります。

【用語の説明】

- 破産更正債権及びこれらに準ずる債権…破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権…債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権…（１）3ヶ月以上延滞債権＝元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更正債権等及び危険債権を除いた貸出債権です。
（２）貸出条件緩和債権＝経済的困難に陥った債務者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更正債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

J Aほくさいは、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま うち組合員数：23,944人

※J Aにおける「組合員」とは？
地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJ Aのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当J Aでは、お客さまのニーズにお応えするため、懸賞品付定期貯金や子育てをしている方を対象とした優遇定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貯金・積金残高

298,428 百万円

出資金

3,137 百万円

貯金・積金

298,428 百万円

地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

34,468 百万円

組合員	28,947 百万円
地公体等	5,238 百万円
その他	283 百万円

*制度融資の実績
農業近代化資金 274 百万円
*農業支援融資商品
営農ローン
J A農機ハウスローン etc.
*個人向けローン、事業者向け融資についても各種ご用意しています。

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

- (1)「地域との共生」を基本理念に小さな活動からを合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的・社会的貢献活動を展開しています。
- (2)利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。
- (3)ほくさいだより等の広報誌やホームページを通じて情報提供やご意見を承りますのでご利用ください。

<https://jahokusai.jp>

J A ほ く さ い

常勤役職員	397名
本店	1
支店	29
A T M設置台数	31
事業所	19

貸出金

支援サービス

営農支援

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のため、J A県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

J A県信連等預金残高	248,822 百万円
有価証券残高	16,541 百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、令和3年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※職員数は、パート、アルバイト及び被出向の職員を除き、出向者、休職者及び常勤嘱託を含めた人数を記載しています。

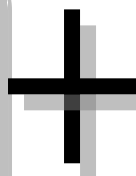
※記載内容、商品についてご質問がございましたら、お気軽にお声掛けください。

JAバンク・セーフティーネット

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築し、組合員・利用者の皆さまに、より一層の「安心」をお届けしています。

破綻未然防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

JAほくさい

身近で便利JAの店舗

店舗名	電話番号
本店	048-561-6911
行田中央支店	048-556-1171
行田西支店	048-556-2573
太田支店	048-559-3511
行田北支店	048-557-1022
行田中部支店	048-556-2235
行田南支店	048-559-2241
南河原支店	048-557-0823
川里中央支店	048-569-1321
羽生中央支店	048-561-1009
羽生北支店	048-565-1201
手子林支店	048-563-1554
須影支店	048-561-0018
羽生東支店	048-565-1200
新郷支店	048-561-0070

店舗名	電話番号
加須中央支店	0480-61-0905
加須西支店	0480-61-0269
加須北支店	0480-68-5654
大桑支店	0480-65-0651
水深支店	0480-65-2003
埼玉志多見支店	0480-61-2318
騎西中央支店	0480-73-1121
田ヶ谷支店	0480-73-0298
種足支店	0480-73-0064
鴻荃支店	0480-73-0029
北川辺支店	0280-62-2211
大利根中央支店	0480-72-3111
東支店	0480-72-2802
原道支店	0480-72-3493
豊野支店	0480-72-3251



組合員・利用者の皆さまに、より一層の「便利」と「安心」をお届けするための農協金融システムが「JAバンクシステム」です。
このシステムに一体的に取り組むJAバンク（JA・信連・農林中金）の金融店舗には、「JAバンク会員マーク」が掲示されております。



ほくさいの
最新情報
掲載中！！



2021 上半期 DISCLOSURE 令和3年11月製作

JAほくさい（ほくさい農業協同組合）企画管理部

〒348-8513 羽生市東7丁目15番地3

Tel 048-561-6911 (代表) Fax 048-561-4530

【ホームページ】<https://jahokusai.jp>



